

# 真福寺貝塚調査最前線



## パネル展示



期間：令和3年1月8日▶2月7日（予定）

会場：東武アーバンパークライン（東武野田線）

岩槻駅東西自由通路



Iwatsuki Police Station



バスのりば

Bus



タクシーのりば

Taxi

PayPay

付券上限：1,000円程度/日、10,000円程度/期間  
\*PayPayは現金と同様に利用可能 \*QRコード決済は、別途アプリダウンロードが必要



ありがとう  
医療従事者の皆様  
岩槻商店会連



**国指定史跡**

ミニスク土俵

真福寺貝塚

真福寺貝塚遺跡発掘地



**真福寺貝塚**

真福寺貝塚は、真福寺の境内にあり、縄文時代の貝塚である。1970年代に発掘された。出土品には、土器、石器、骨器、貝殻などが多く見られる。また、人骨も発見された。この貝塚は、縄文時代の生活様式や食生活を知る上で重要な資料となっている。



真福寺貝塚

この展示品は、国の指定史跡である真福寺貝塚の出土品です。出土品は、土器、石器、骨器、貝殻などです。出土品は、縄文時代の生活様式や食生活を知る上で重要な資料となっています。





1



正面



背面



ハネリりの土偶です。土に埋まっていた部分も盛り出した姿です。残念ながら全身は残っていませんでしたが、保存状態は良好で貴重な発見となりました。

2



正面



背面

重要文化財の土偶（興福寺遺跡）

東京国立博物館所蔵  
何尊大（高さ20.5センチ）



皇いたまの御殿の 興福寺遺跡出土品  
ミニズク土偶（2020）  
製（1/スケール）レプリカ

①の土偶は令和2年10月に見つかり、テレビや新聞でも報道され注目を浴びました。②は重要文化財の土偶です、どちらも実物と同じ大きさにしてあります。顔の形、大きさ、文様などをくらべてみましょう。



何尊大（高さ20.5センチ）  
複製（高さ20.5センチ）

左下のケース内のものは、岩槻区観光経済室お手製のレプリカ

# 真福寺貝塚調査最前線



真福寺貝塚は岩槻区城南三丁目にある遺跡です。大正15年（1926）の泥炭層遺跡の発掘調査をはじめ、昭和40年（1965）頃まで幾度となく発掘調査が実施された、考古学史上重要な遺跡です。台地上の居住域と水場の活動域が同じ遺跡内に残されていることも貴重です。さらに、出土したミミズク土偶（東京国立博物館所蔵、国重要文化財）は海外にも知られています。これらの価値が高く評価され、昭和50年に国の史跡に指定されました。

さいたま市教育委員会では、この大切な真福寺貝塚を将来にわたって保存・活用していくために、平成28年度から発掘調査を継続して実施しています。真福寺貝塚の実像を解き明かす発掘調査の最前線を御紹介します。

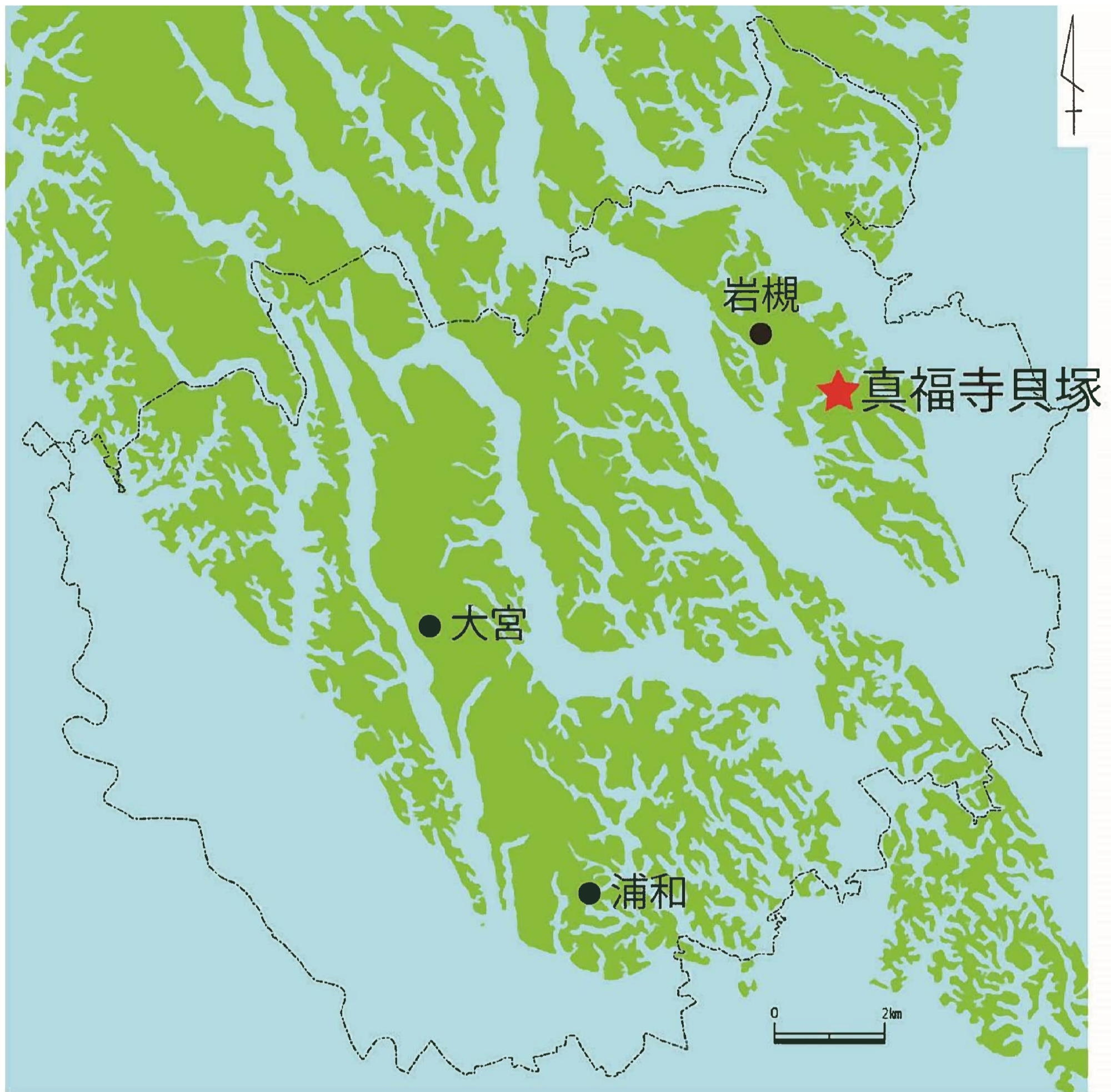


お問い合わせ先 さいたま市教育委員会

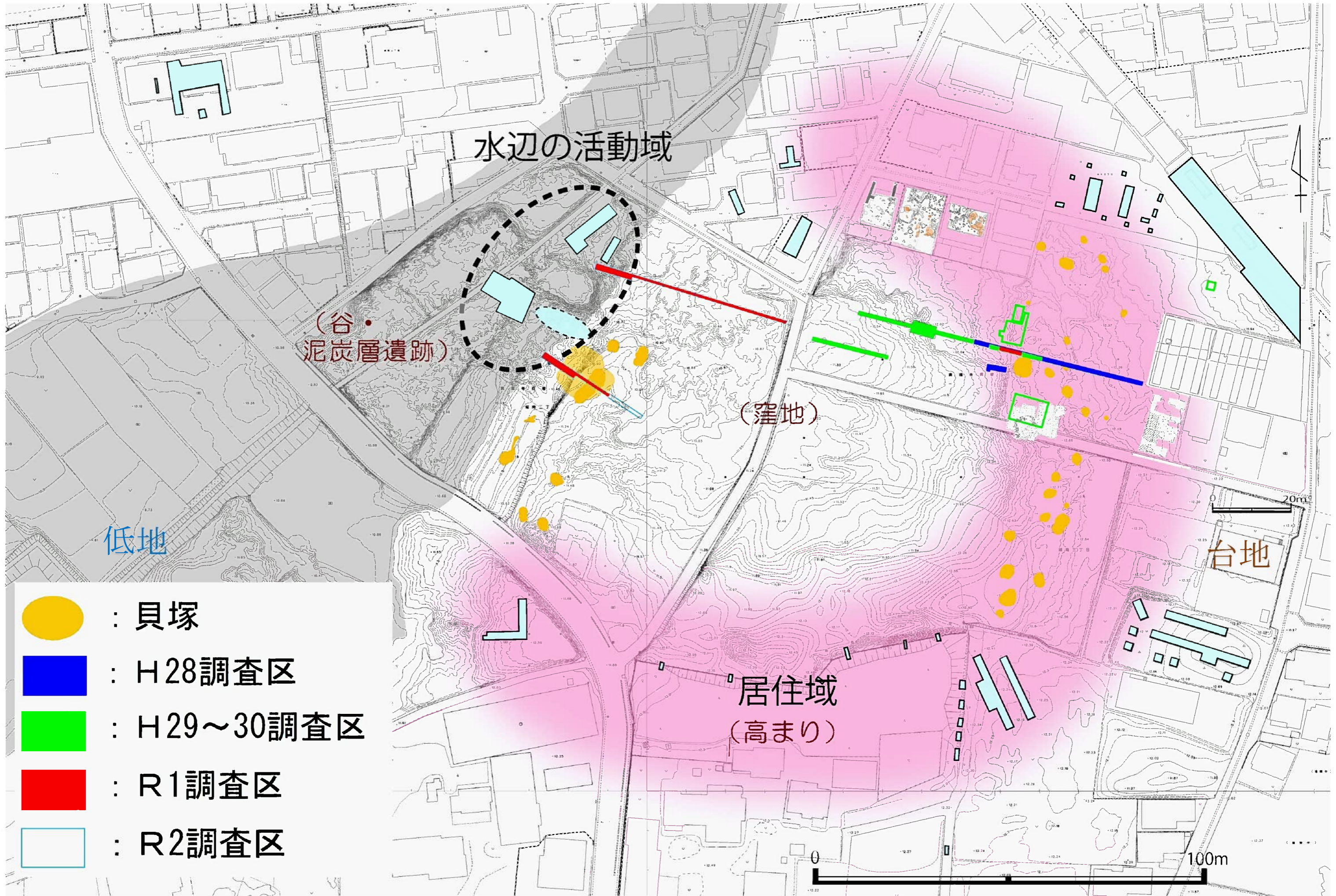
生涯学習部文化財保護課

TEL 048-829-1724

FAX 048-829-1989



さいたま市の地形と真福寺貝塚の位置



-  : 貝塚
-  : H28調査区
-  : H29~30調査区
-  : R1調査区
-  : R2調査区



① 3,000年の眠りからさめたミミズク土偶





② ほぼ完全な形に復元できる土器も出土



③ 足の踏み場もないほどの土器、土器、土器…



④ 水場のある谷へと落ち込む斜面を発見！

# くらべてみよう！



令和2年新発見



重要文化財



**①**の土偶は令和2年10月に見つかり、テレビや新聞でも報道され注目を浴びました。**②**は重要文化財の土偶です。どちらも実物と同じ大きさ※にしております。顔の形、大きさ、文様などをくらべてみましょう。



※展示パネルでの大きさです。**①**と**②**のシートをA3判でプリントすると、ほぼ実物の大きさになります。

1



正面



背面



① 3,000年の眠りからさめたミミズク土偶

パネル①の土偶です。土に埋まっていた部分も掘り出した姿です。残念ながら全身は残っていませんでしたが、保存状態は良好で、貴重な発見となりました。

2



正面

重要文化財の土偶（真福寺貝塚）



背面

東京国立博物館所蔵

実寸大（高さ20.5センチ）



近隣小学校の児童が発掘調査を応援してくれました



発掘調査の現地見学会には大勢の方にお越しいただきました

真福寺貝塚発掘調査の最新情報はこちら ↓

真福寺貝塚調査最前線

